



## 教員紹介

## 経営学部

## 岡室 美恵子 OKAMURO Mieko

職位	准教授
最終学歴	東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学
職歴	笹川平和財団、武田計測先端知財団、千葉経済大学などを経て現職
学位	経済学修士
資格（免許）、認定	（旧）高等学校教諭 2 級普通免許状 / （旧）中学校教諭 1 級普通免許状
担当科目（学部）	経済学概論/経済政策/資源経済論/環境経営論/ゼミナール I～IV
担当科目（大学院）	
学生へのメッセージ	大学での学びは「知の職人」への入り口です。大きく変革しつつある社会を分析する道具と技術の基礎を習得し、自分の夢の実現に役立ててください。
研究内容	開発途上国・資源国のマクロ経済
研究分野キーワード	マクロ経済/ 資源・エネルギー/ 非営利経済/中東/ 中国
URL	
著書	1) 王名・李妍焱・ <b>岡室美恵子</b> 『中国の NPO』第一書林、2002. 2) 服部健治・丸川知雄編著、 <b>岡室美恵子</b> 『日中関係史 1972-2012—経済』、東大出版会、P289-297、2012. 3) 明石純一編著、 <b>岡室美恵子</b> 『国際労働力移動と世界的経済危機』、明石書店、P210-226、2011. 4) 安里和晃編著、 <b>岡室美恵子</b> 『労働鎖国ニッポンの崩壊』、ダイヤモンド社、P262-287/P344-345、2011.
論文	1) 岡室美恵子・染矢将和「COVID-19 のエジプト経済への影響」、『研究紀要』、第 22 号、P1-19、2022. 2) <b>岡室美恵子</b> 「自由変動為替相場制への移行のエジプト財政への影響」、『千葉経済論叢』、第 61 号、P147-170、2019.

	<p>3) 岡室 美恵子・染矢 将和「エジプトの変動為替移行のマクロ経済への影響」、『千葉経済論叢』、第 60 号、P91-110、2019.</p> <p>4) 染矢 将和・岡室 美恵子「ヨルダンの貿易構造と生産性」『千葉経済論叢』、第 58 号、P115-138、2018</p> <p>5) 岡室 美恵子・染矢 将和「低石油価格下におけるイラク財政運営－財政反応関数の推計と債務に関するリスク分析－」、『千葉経済論叢』、第 56 号、P1-20、2017.</p> <p>6) 岡室美恵子「ヨルダン経済概況」『千葉経済論叢』、第 54 号、P35-52、2016.</p> <p>ほか 5 件</p>
<p>学会発表</p>	<p>1) Mieko Okamuro “An Initial Analysis of the Economic Impact of Covid-19 in Developing Countries: A Case of Egyptian Economy”, 2022 Joint Conference: Taiwan-Philippines-Japan Academic Conference (TPJ) and the CNU- Festival on Innovations Research and Extensions (FIRE) (November28,2022)</p> <p>2) 岡室美恵子・染矢将和 (2022) 「COVID-19 のエジプト経済への影響」、日本中東学会第 38 回年次大会 (2022 年 5 月、早稲田大学)</p> <p>3) 岡室美恵子・染矢将和 (2022) 「COVID-19 のエジプト経済への影響」国際開発学会第 23 回春季大会 (2022 年 6 月、早稲田大学)</p> <p>4) 岡室美恵子・染矢将和、「変動為替相場制移行後のエジプトのマクロ経済分析」、日本中東学会第 34 回年次大会 (2018 年 5 月、上智大学)</p> <p>5) 岡室美恵子、「ヨルダンの輸出構造分析」、国際開発学会 (2017 年 11 月、東洋大学)</p> <p>6) 岡室美恵子、「ヨルダンの輸出構造分析」、日本中東学会第 33 回年次大会 (2017 年 5 月、九州大学)</p>
<p>社会的活動  (公開講座・講演・  国際交流など)</p>	<p>(特非) NPO 研修・情報センター理事</p>
<p>その他</p>	<p>中国研究所編、岡室美恵子『中国年鑑』「NGO・NPO」、2004 年版以降分担執筆。</p> <p>新聞寄稿： 岡室美恵子「リープフロッグ再考－なにを飛び越すのか」『中部経済新聞』2022 年 2 月 17 日 岡室美恵子「コロナ対応の有効性－選択の自由と重さ」『中部経済新聞』2021 年 3 月 3 日</p>